

活動名:第21回喜多方市長杯蔵のまちフットサル5年生大会

日程:平成29年1月14日～15日

会場:喜多方押切川体育館

参加:T5・T6B(5年生)クラス8名

帯同:小松、佐藤、大森コーチ

結果:第9位/16チーム中「敢闘賞」

報告:大森コーチ【初日】

佐藤コーチ【二日目】

#### 予選リーグ

VS 1-5 五泉●

VS 0-2 熊倉 ●

VS 12-0 喜多方中央 ○ 予選:3位/4チーム

#### フレンドリートーナメント

VS 20-0 デランテーロ ○

VS 4-3 エスペランサ ○

VS 2-1 ヴェルジナーレ ○ 結果:敢闘賞 第9位/16チーム

#### <予選報告:大森コーチ>

選手達には大会に参加するにあたって参加することのできない仲間の分まで全力でプレーする事を約束しました。

1試合目は手に届きかけた試合が行ったり来たりしながら勝利することが出来ませんでした。

2試合目は前の試合を引きずりながら選手達は自分のプレーが出来ずに徐々に体力がなくなり足が止まってしまい勝利することが出来ませんでした。

3試合目はいくら格下と言えアーらしいプレーが発揮し多くの得点が生まれ勝利することが出来ました。

試合の結果は出せませんでしたでしたが五年生にとって大会はいい経験になったのではないのでしょうか！

今後の成長にあたって感じた事を幾つか挙げたいと思います。

○アップ

試合開始から全力でプレーが出来るように体をしっかり温める。

また集中して取り組み試合に向けた心の準備をして行かなければなりません。

#### ○シュートの精度

チャンスの場面を何度作っても得点出来なければ勝てないのがサッカーです。

シュートをただ打つのではなくゴール・キーパーを確認してシュートを狙えるように練習して精度を上げていきましょう。

#### ○ディフィンス

足先だけでボールを奪おうとして簡単に交わされる場面が見受けられました。

体を張ったDFが出来るように取り組んでいきましょう。

#### ○考えながら

良いプレー、ミスしたプレーの時に何が良くて何が悪いか気付く事は成長する為にとっても大事です。

考えながらプレーする事によって沢山の気付きがあると思います。

練習から考えながらプレーするようにして下さい。

以上が初日の試合で感じた事です。

今の自分に満足せず向上心を持って更なる成長を期待しています。

#### 大会関係者様

大変お世話になりました。

素晴らしい会場と最高の雰囲気の中でサッカーが出来た事選手達はとても幸せです。

今後も宜しくお願いします。

雪の中応援に来て頂きました御父兄の皆様ありがとうございました。

試合の結果は出せませんでしたが随所に素晴らしいプレーを見せてくれましたので一生懸命頑張った選手達を褒めてあげて下さい。

また今後も応援・ご協力の程宜しくお願いします。

コーチ:大森

#### <フレンドリーT:佐藤コーチ>

初日を引き継いで、2日目を担当させていただきましたので、報告いたします。

初日の様子を聞いたことと、普段の練習や特練などで選手のことを見ていたので、イメージをした上でのぞみました。

## デランテロー戦

相手が年下のチームとの対戦となりましたが、あくまで自分達のプレーを心がけることを伝えました。始めのうちは、体が硬かったのですが、得点を重ねるごとにのびのびと思い切りの良いプレーをすることができました。点を取る気持ちも強く、8人の選手が全員得点をすることができました。

## エスペランサ戦

相手陣でのプレーが多く、支配はしているものの、相手チームの粘りで、ゴールを奪うことがなかなかできませんでした。また、足先だけのプレーでかわされ失点し最後まで厳しい試合となりました。ゴールの意識が強かったことが結果として勝利に結びついたと思います。

## ヴェルジナーレ戦

フレンドリートーナメント決勝ということで、お互い必死なプレーが続きました。決定機は多く作れない中で、コースをつくシュートが得点に結びつけられました。相手の反撃も体を張って防ぎ、また、攻守の切り替えも一試合目からの課題で修正することができ、相手のチャンスをつぶしていました。しっかりとした守備から攻撃につなげ敢闘賞となりました。

## その他

○全力でボールを奪いくる相手に対してのプレーに課題がある。プレッシャーに負けることがあった。弱いプレッシャーでは余裕をもってかわしたり、キープできるので、通常の練習から、意識できればと思います。

※みんな技術は向上していますが、試合の中のプレッシャーがあっても同じことができる技術にならなくてはなりません。できるようになるためには通常の練習から、みんながそういう意識の中で行うことが必要です。

○選手たちは試合に出たくてたまらない感じでした。そのような選手達のポジションは様々な理由で決めさせてもらいました。やりたかったポジションもあれば、やりたくないポジションもあったかもしれません。しかしながらこれからのサッカー人生の中で、好きなポジションばかりできるとは限りません。まして、成長しているなかで、どのポ

ポジションが適正なのかもはっきりしていない選手たちなので、どこのポジションでもできる選手になれるよう練習も取り組んでもらいたいと思います。

5年生として予定されてる大会は今年度はこの大会で最後でした。来年度は6年生となります。試合の機会も多くなりますので、そこで良いプレーが発揮できるように励んでいきましょう。そして、来年のこの大会は名前を呼ばれながら入場し決勝の舞台に立ちたい。

ご父兄の皆さん、大雪の中、応援に駆けつけ、熱い声援を送っていただきありがとうございました。また、大会中も暖かく選手たちを見守っていただきありがとうございました。

大会実行委員会の皆様、大変お世話になりました。素晴らしい環境のなかでのぞむことができ、良い経験となりました。来年もどうぞよろしく願いいたします。

コーチ：佐藤











小松コーチ撮影：写真のピントズレ、写真が少なくてすみません。